

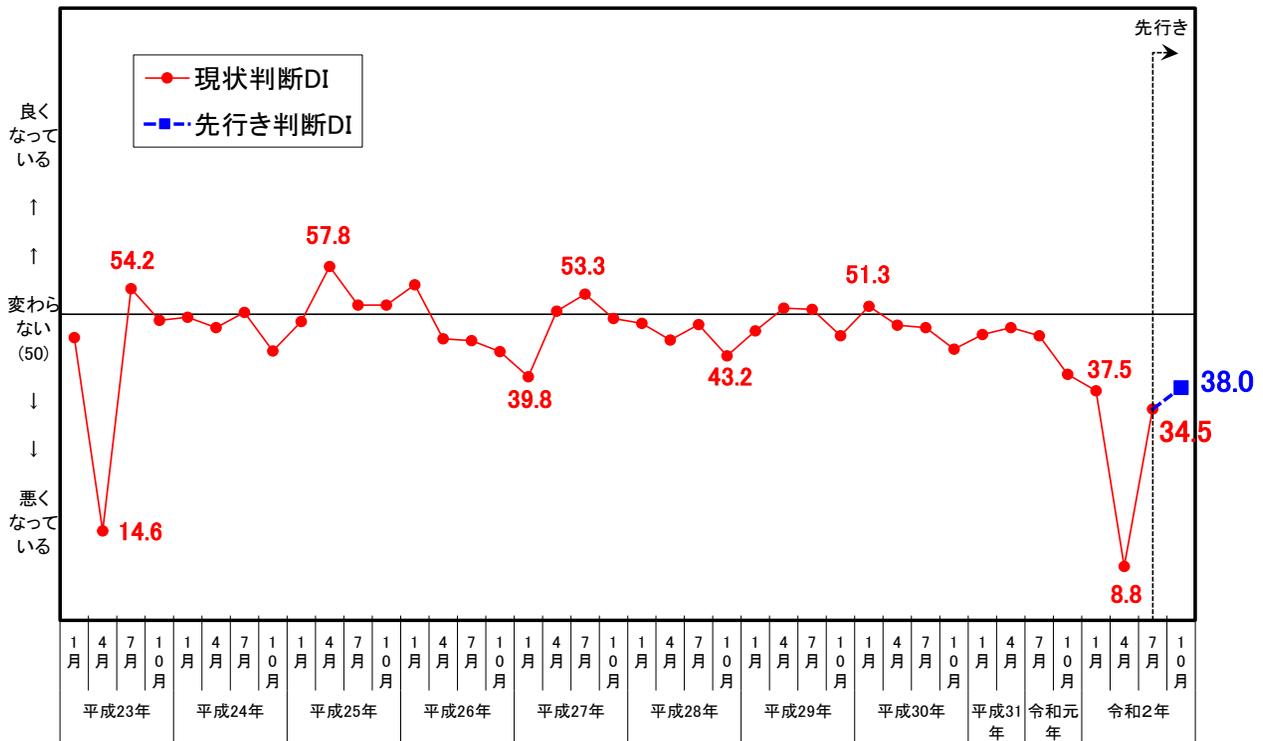
青森県景気ウォッチャー調査 (令和2年7月期)

調査期間 令和2年7月1日～7月17日 回答率 100%

概況

7月期の景気の現状判断DIは34.5となり、前期から大幅に増加したが、景気の横ばいを示す50を10期連続で下回った。
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて3.5ポイント増加の38.0となった。また、前期からの上げ幅が過去最高となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和2年8月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が4.0ポイント増加、「やや良くなっている」が15.0ポイント増加、「変わらない」が16.9ポイント増加、「やや悪くなっている」が7.8ポイント増加、「悪くなっている」が43.7ポイント減少となった。

全体では34.5となり、平成13年7月の調査開始以来最も低い水準となった前期と比べて25.7ポイント増と大幅に増加したが、景気の横ばいを示す50を10期連続で下回った。

判断理由では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言や移動制限が解除されたことにより、徐々に客数や消費活動が回復しつつあるという声の一部ではある一方で、悪い状態のまま変わっていない、3カ月前と比べれば回復しているが、感染症の影響は依然として続いているとの声が多かった。また、4～5月において最も経済活動が悪化したという声も多く、店舗の休業や閉店に関する声もあった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で28.9ポイント増加、企業関連で16.7ポイント増加、雇用関連で14.3ポイント増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが増加したが、いずれの地区においても、景気の横ばいを示す50を下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が増減なし、「やや良くなる」が19.0ポイント増加、「変わらない」が17.9ポイント増加、「やや悪くなる」が13.9ポイント増加、「悪くなる」が50.7ポイント減少となった。

全体では38.0となり、平成13年7月の調査開始以来最も低い水準となった前期と比べて26.6ポイント増と過去最高の上げ幅となったが、景気の横ばいを示す50を5期連続で下回った。

判断理由では、徐々に経済活動が回復することへの期待を挙げる声があった一方で、ねぶた祭をはじめとした夏祭りやイベント等の中止が経済活動に及ぼす影響への懸念や、キャッシュレスによるポイント還元事業の終了、先が見えない不安、感染が再び拡大することを警戒する声などがあった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で24.8ポイント増加、企業関連で31.9ポイント増加、雇用関連で32.1ポイント増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが増加したが、いずれの地区においても景気の横ばいを示す50を下回った。

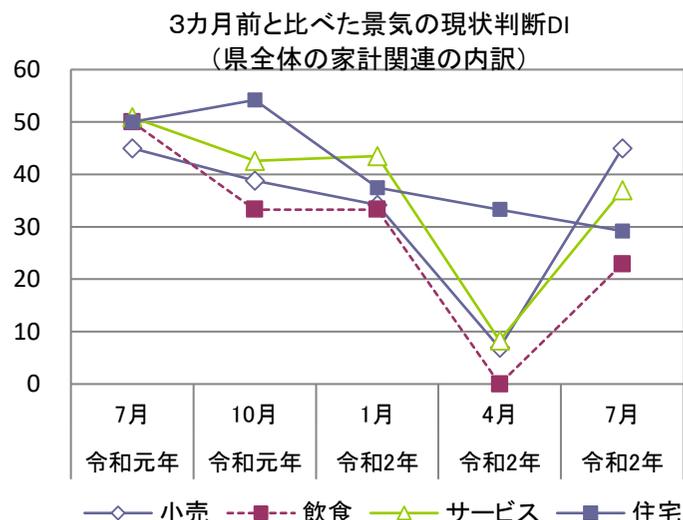
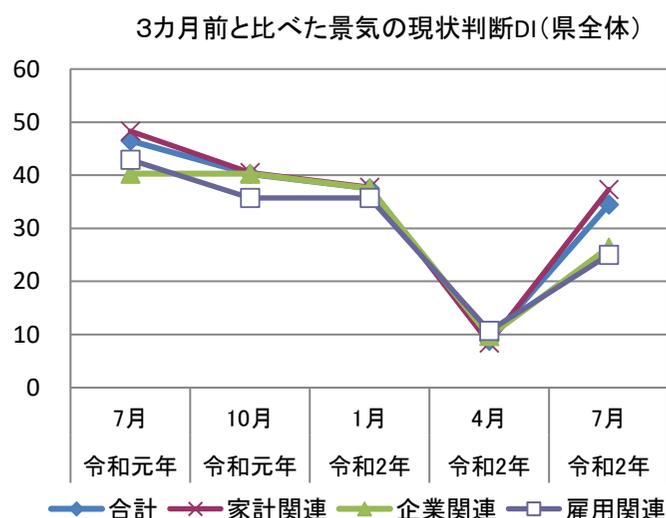
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

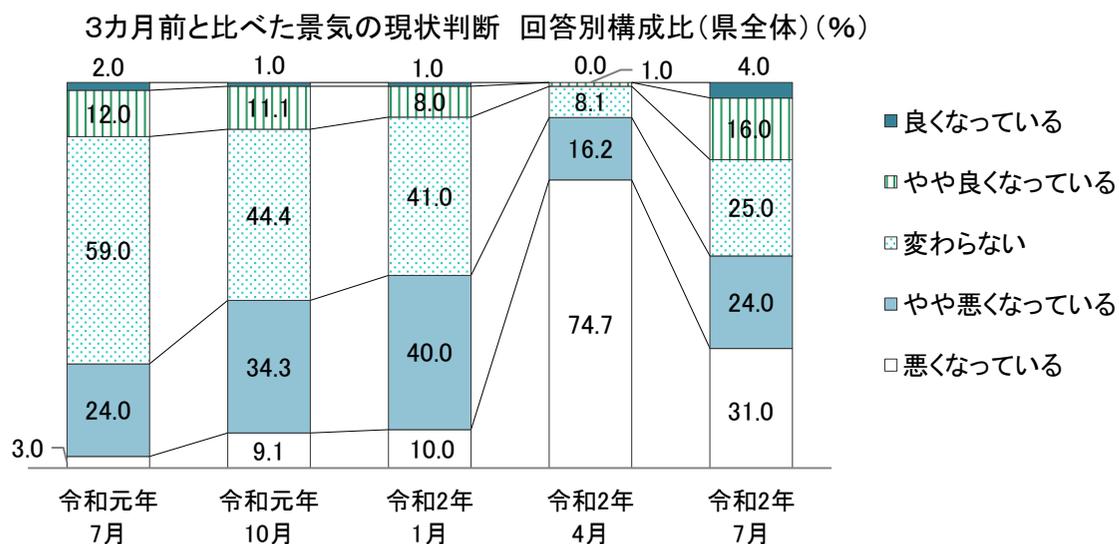
n = 100

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	46.5	40.2	37.5	8.8	34.5	25.7
家計関連	48.3	40.5	37.7	8.4	37.3	28.9
小売	45.0	38.8	34.2	6.9	45.0	38.1
飲食	50.0	33.3	33.3	0.0	22.9	22.9
サービス	50.9	42.6	43.5	8.3	37.0	28.7
住宅	50.0	54.2	37.5	33.3	29.2	▲ 4.1
企業関連	40.3	40.3	37.5	9.7	26.4	16.7
雇用関連	42.9	35.7	35.7	10.7	25.0	14.3



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなっている	2.0	1.0	1.0	0.0	4.0	4.0
やや良くなっている	12.0	11.1	8.0	1.0	16.0	15.0
変わらない	59.0	44.4	41.0	8.1	25.0	16.9
やや悪くなっている	24.0	34.3	40.0	16.2	24.0	7.8
悪くなっている	3.0	9.1	10.0	74.7	31.0	▲ 43.7



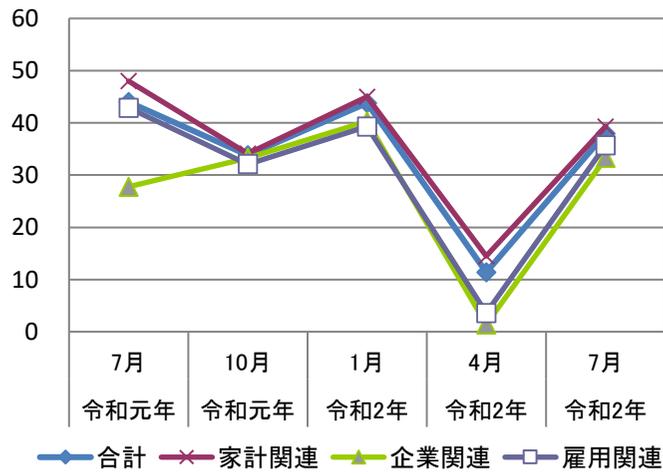
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

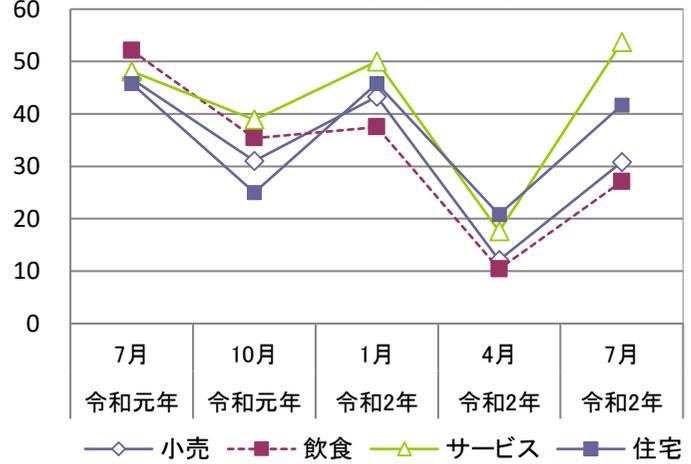
n = 100

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	44.0	33.8	43.8	11.4	38.0	26.6
家計関連	48.0	34.1	45.0	14.5	39.3	24.8
小売	46.7	31.0	43.3	12.1	30.8	18.7
飲食	52.1	35.4	37.5	10.4	27.1	16.7
サービス	48.1	38.9	50.0	17.6	53.7	36.1
住宅	45.8	25.0	45.8	20.8	41.7	20.9
企業関連	27.8	33.3	40.3	1.4	33.3	31.9
雇用関連	42.9	32.1	39.3	3.6	35.7	32.1

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



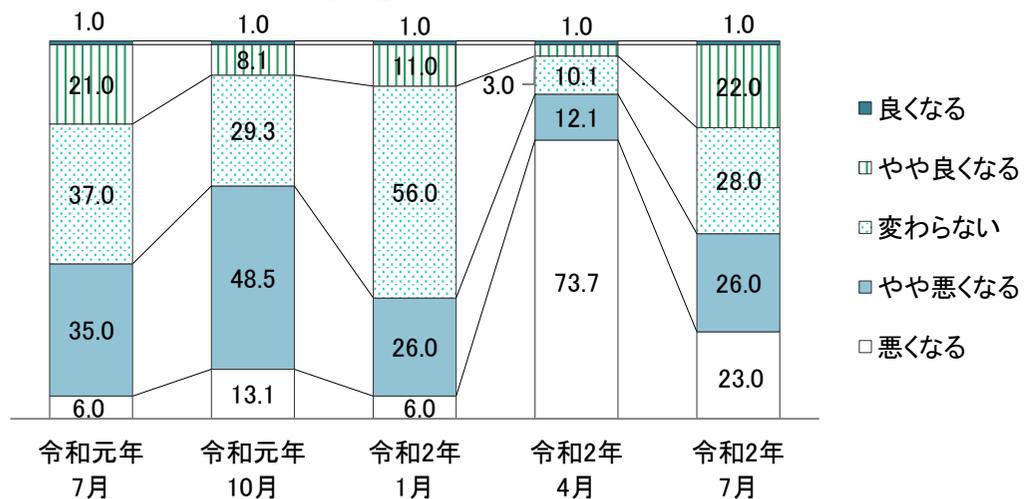
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	21.0	8.1	11.0	3.0	22.0	19.0
変わらない	37.0	29.3	56.0	10.1	28.0	17.9
やや悪くなる	35.0	48.5	26.0	12.1	26.0	13.9
悪くなる	6.0	13.1	6.0	73.7	23.0	▲ 50.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)(%)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

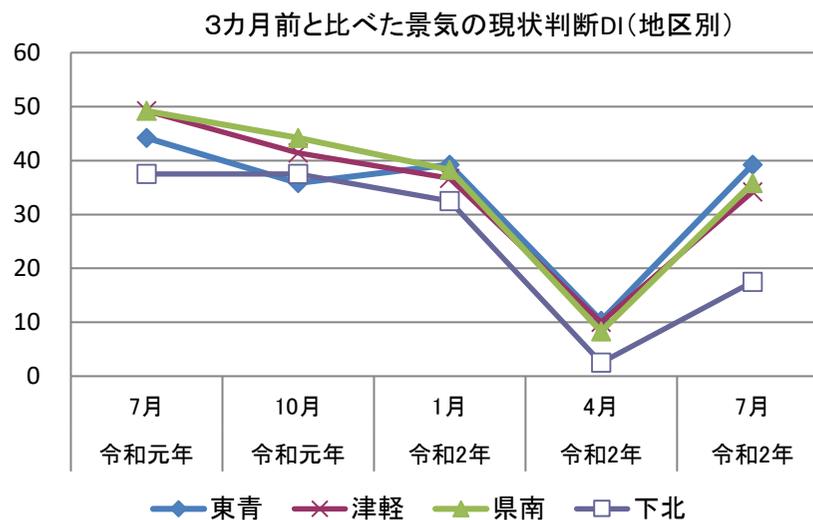
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

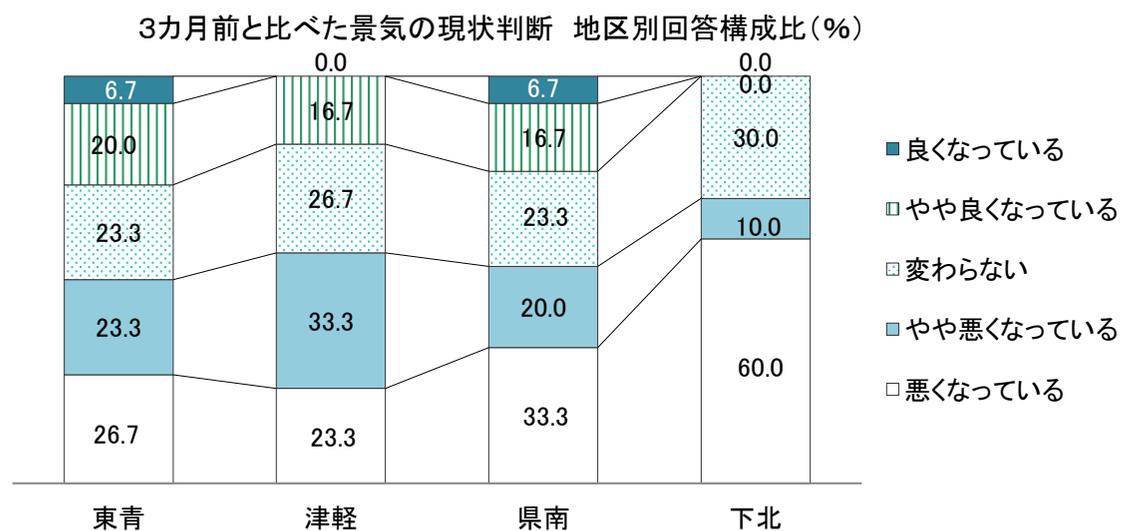
n = 100

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	46.5	40.2	37.5	8.8	34.5	25.7
東青	44.2	35.8	39.2	10.3	39.2	28.9
津軽	49.2	41.4	36.7	10.0	34.2	24.2
県南	49.2	44.2	38.3	8.3	35.8	27.5
下北	37.5	37.5	32.5	2.5	17.5	15.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	6.7	0.0	6.7	0.0
やや良くなっている	20.0	16.7	16.7	0.0
変わらない	23.3	26.7	23.3	30.0
やや悪くなっている	23.3	33.3	20.0	10.0
悪くなっている	26.7	23.3	33.3	60.0



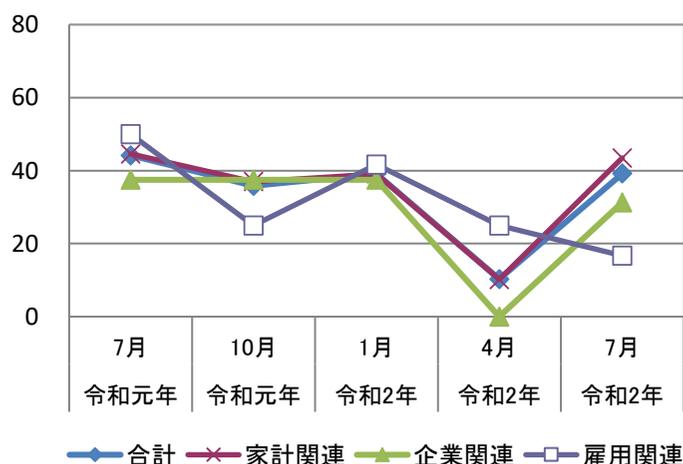
<東青地区>

①DI

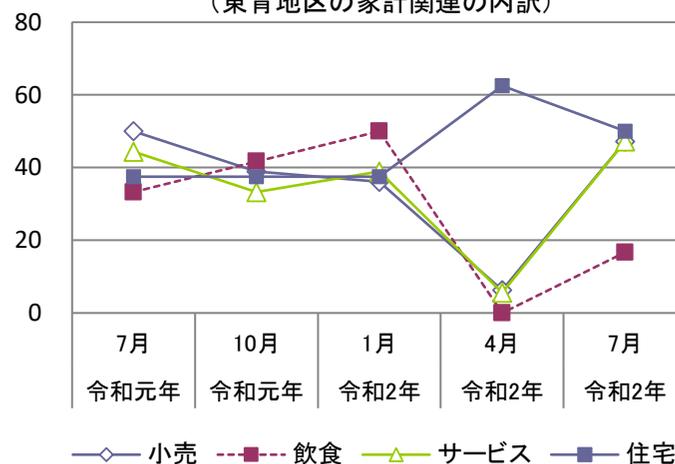
n = 30

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	44.2	35.8	39.2	10.3	39.2	28.9
家計関連	44.6	37.0	39.1	10.2	43.5	33.3
小売	50.0	38.9	36.1	6.3	47.2	40.9
飲食	33.3	41.7	50.0	0.0	16.7	16.7
サービス	44.4	33.3	38.9	5.6	47.2	41.6
住宅	37.5	37.5	37.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	37.5	37.5	37.5	0.0	31.3	31.3
雇用関連	50.0	25.0	41.7	25.0	16.7	▲ 8.3

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



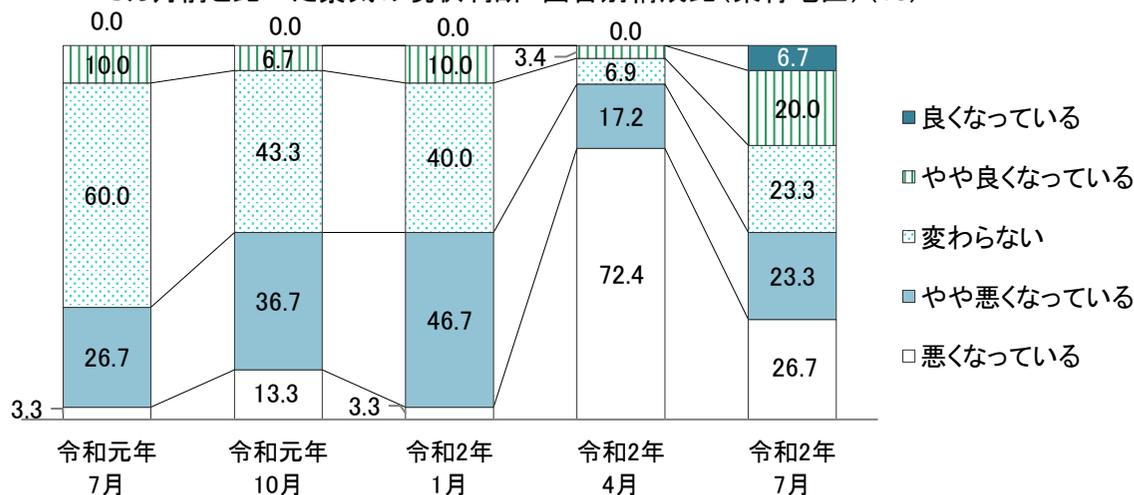
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7
やや良くなっている	10.0	6.7	10.0	3.4	20.0	16.6
変わらない	60.0	43.3	40.0	6.9	23.3	16.4
やや悪くなっている	26.7	36.7	46.7	17.2	23.3	6.1
悪くなっている	3.3	13.3	3.3	72.4	26.7	▲ 45.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



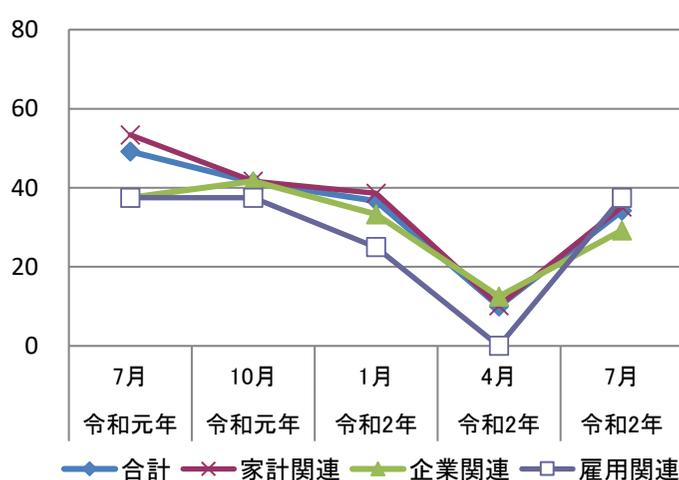
<津軽地区>

①DI

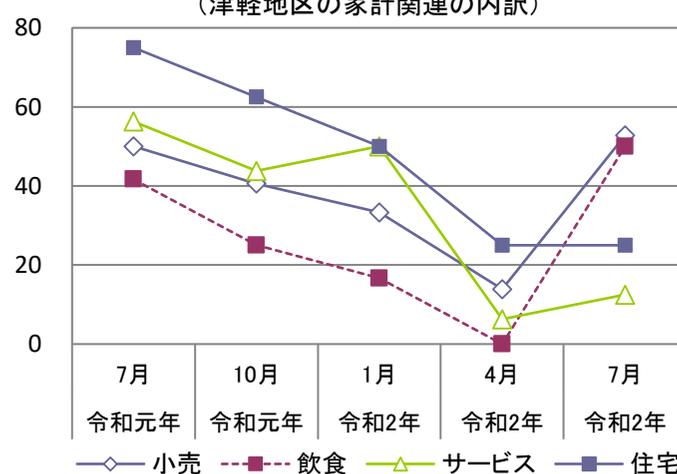
n = 30

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	49.2	41.4	36.7	10.0	34.2	24.2
家計関連	53.4	41.7	38.6	10.2	35.2	25.0
小売	50.0	40.6	33.3	13.9	52.8	38.9
飲食	41.7	25.0	16.7	0.0	50.0	50.0
サービス	56.3	43.8	50.0	6.3	12.5	6.2
住宅	75.0	62.5	50.0	25.0	25.0	0.0
企業関連	37.5	41.7	33.3	12.5	29.2	16.7
雇用関連	37.5	37.5	25.0	0.0	37.5	37.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



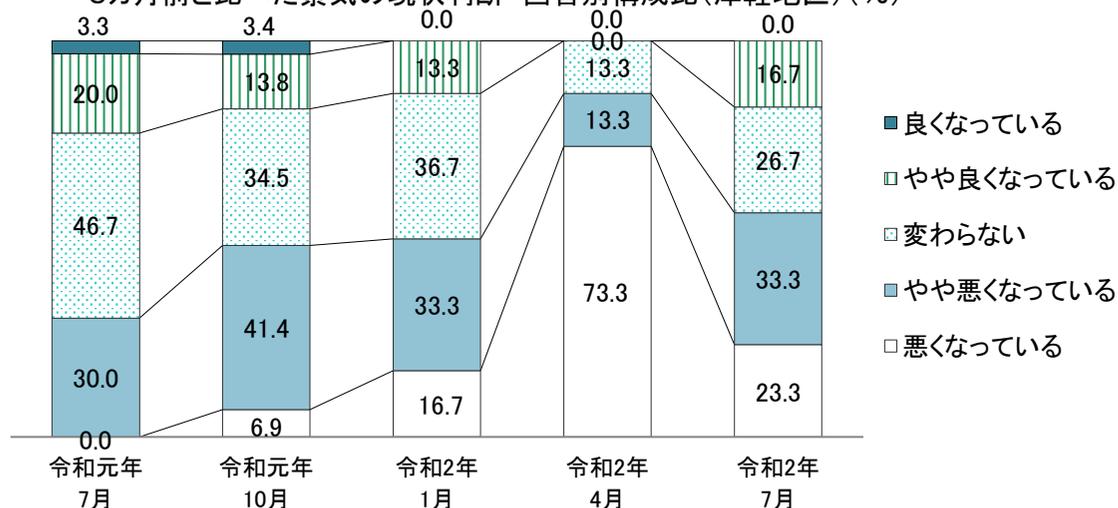
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	13.8	13.3	0.0	16.7	16.7
変わらない	46.7	34.5	36.7	13.3	26.7	13.4
やや悪くなっている	30.0	41.4	33.3	13.3	33.3	20.0
悪くなっている	0.0	6.9	16.7	73.3	23.3	▲ 50.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



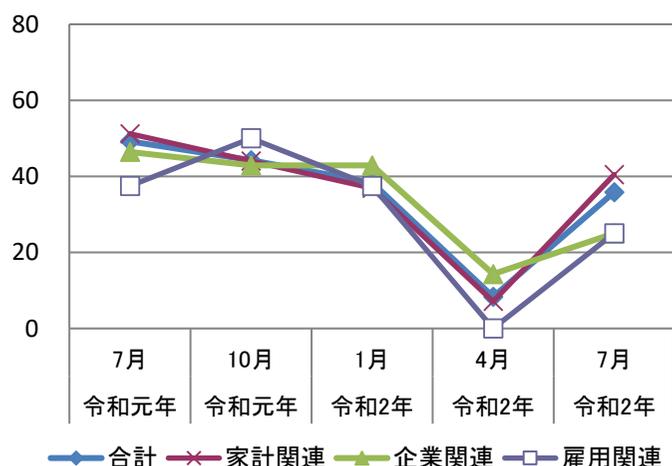
< 県南地区 >

① D I

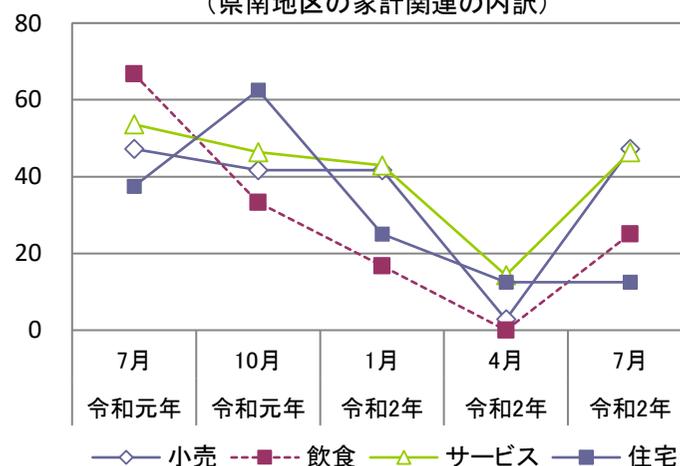
n = 30

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	49.2	44.2	38.3	8.3	35.8	27.5
家計関連	51.2	44.0	36.9	7.1	40.5	33.4
小売	47.2	41.7	41.7	2.8	47.2	44.4
飲食	66.7	33.3	16.7	0.0	25.0	25.0
サービス	53.6	46.4	42.9	14.3	46.4	32.1
住宅	37.5	62.5	25.0	12.5	12.5	0.0
企業関連	46.4	42.9	42.9	14.3	25.0	10.7
雇用関連	37.5	50.0	37.5	0.0	25.0	25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



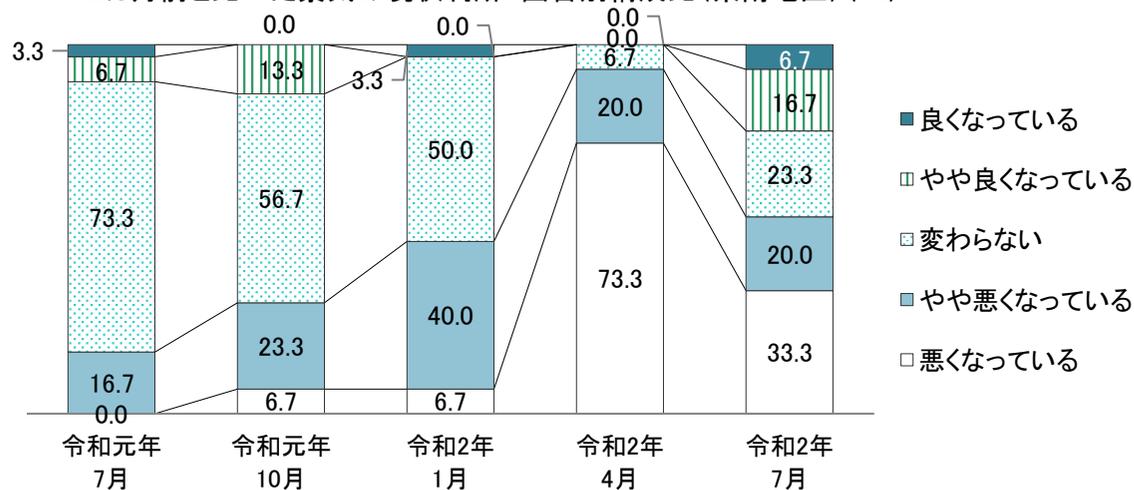
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	3.3	0.0	6.7	6.7
やや良くなっている	6.7	13.3	0.0	0.0	16.7	16.7
変わらない	73.3	56.7	50.0	6.7	23.3	16.6
やや悪くなっている	16.7	23.3	40.0	20.0	20.0	0.0
悪くなっている	0.0	6.7	6.7	73.3	33.3	▲ 40.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区) (%)

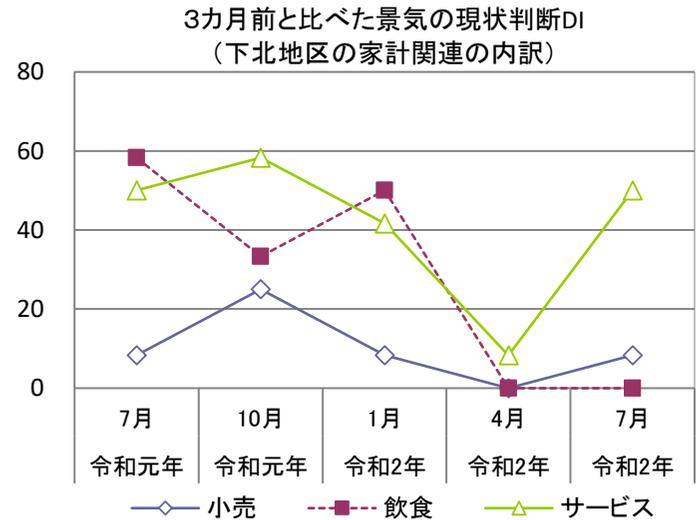
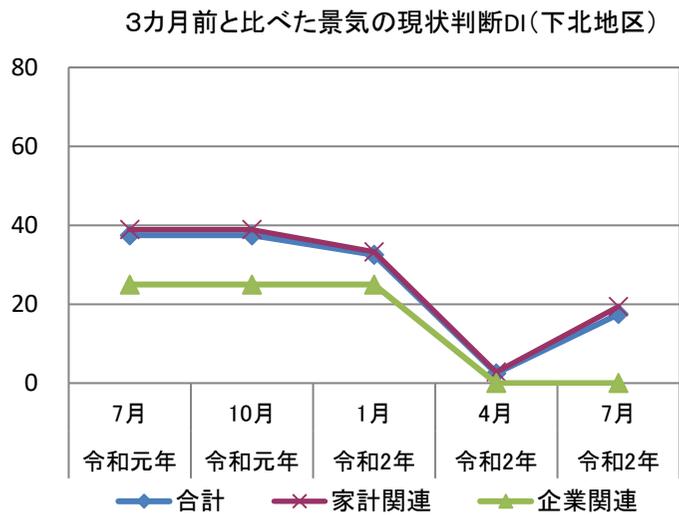


<下北地区> (参考)

①DI

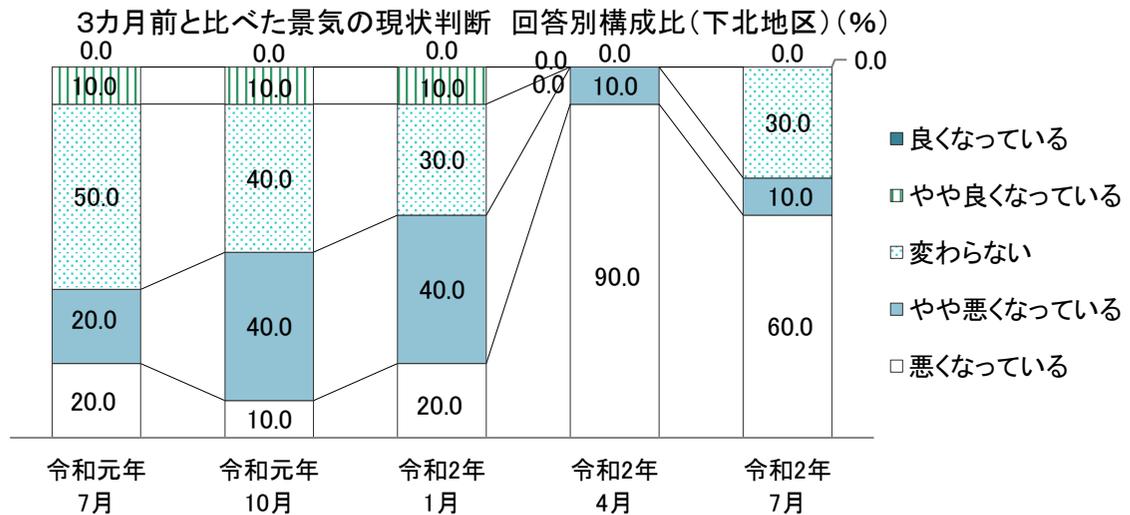
n = 10

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	37.5	37.5	32.5	2.5	17.5	15.0
家計関連	38.9	38.9	33.3	2.8	19.4	16.6
小売	8.3	25.0	8.3	0.0	8.3	8.3
飲食	58.3	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0
サービス	50.0	58.3	41.7	8.3	50.0	41.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
変わらない	50.0	40.0	30.0	0.0	30.0	30.0
やや悪くなっている	20.0	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0
悪くなっている	20.0	10.0	20.0	90.0	60.0	▲ 30.0



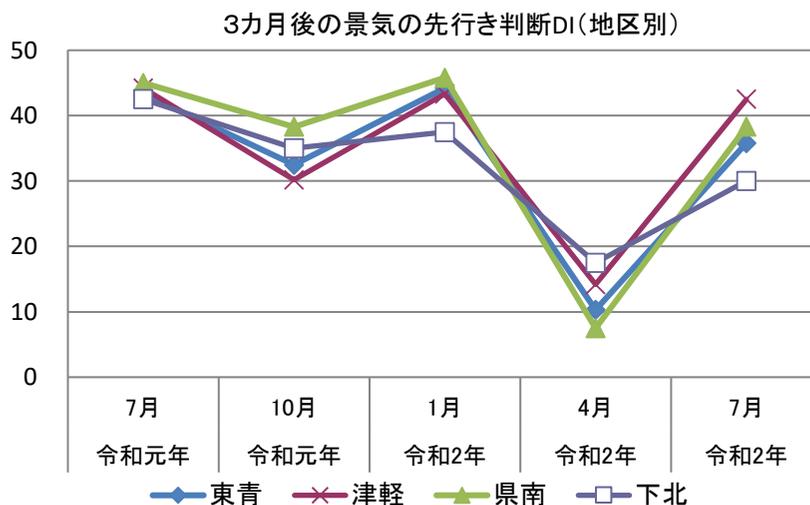
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

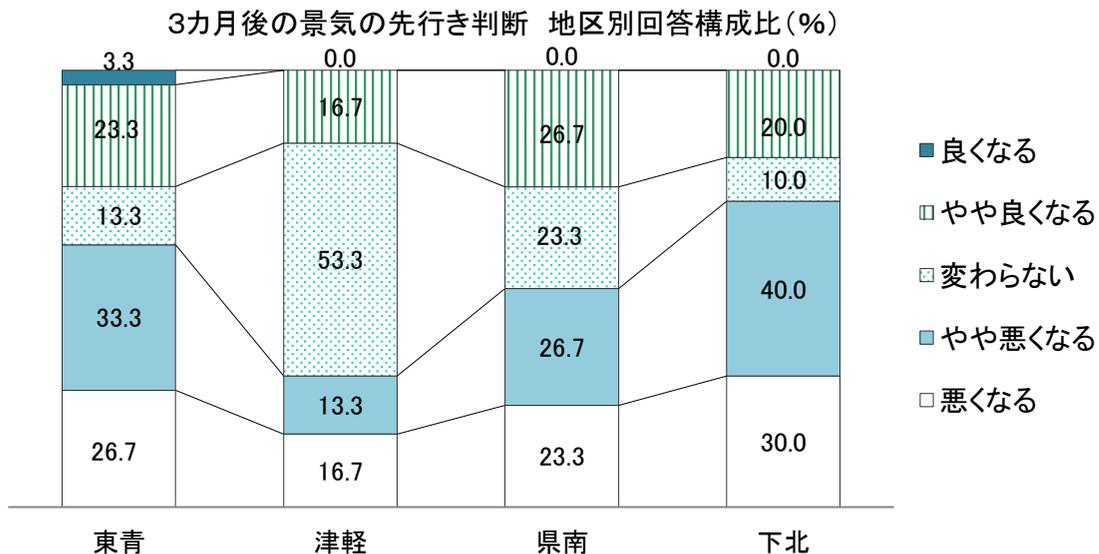
n = 100

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	44.0	33.8	43.8	11.4	38.0	26.6
東青	43.3	32.5	44.2	10.3	35.8	25.5
津軽	44.2	30.2	43.3	14.2	42.5	28.3
県南	45.0	38.3	45.8	7.5	38.3	30.8
下北	42.5	35.0	37.5	17.5	30.0	12.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	23.3	16.7	26.7	20.0
変わらない	13.3	53.3	23.3	10.0
やや悪くなる	33.3	13.3	26.7	40.0
悪くなる	26.7	16.7	23.3	30.0



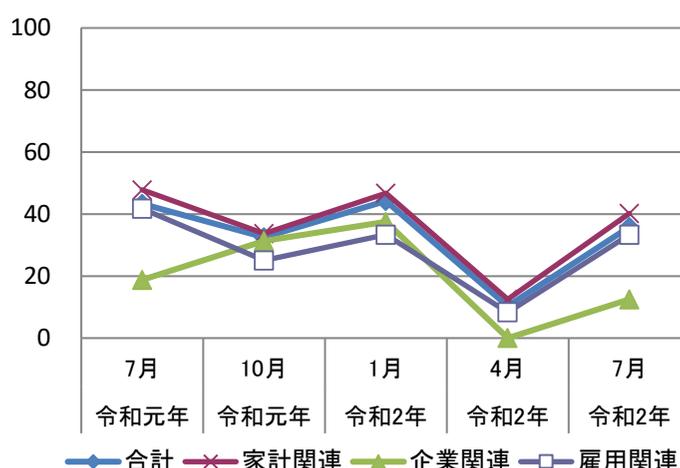
<東青地区>

①DI

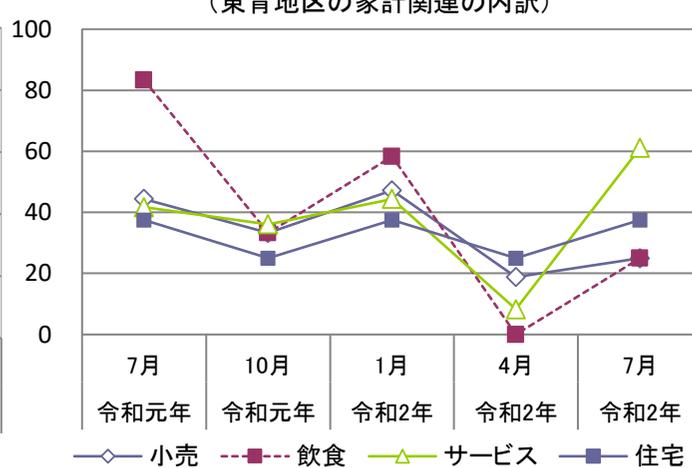
n = 30

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合計	43.3	32.5	44.2	10.3	35.8	25.5
家計関連	47.8	33.7	46.7	12.5	40.2	27.7
小売	44.4	33.3	47.2	18.8	25.0	6.2
飲食	83.3	33.3	58.3	0.0	25.0	25.0
サービス	41.7	36.1	44.4	8.3	61.1	52.8
住宅	37.5	25.0	37.5	25.0	37.5	12.5
企業関連	18.8	31.3	37.5	0.0	12.5	12.5
雇用関連	41.7	25.0	33.3	8.3	33.3	25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



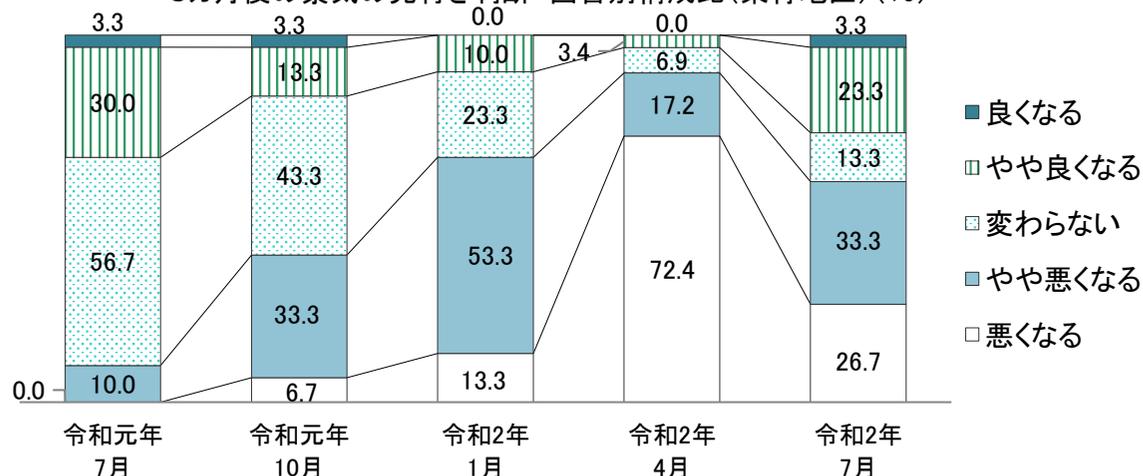
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなる	30.0	13.3	10.0	3.4	23.3	19.9
変わらない	56.7	43.3	23.3	6.9	13.3	6.4
やや悪くなる	10.0	33.3	53.3	17.2	33.3	16.1
悪くなる	0.0	6.7	13.3	72.4	26.7	▲ 45.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)(%)



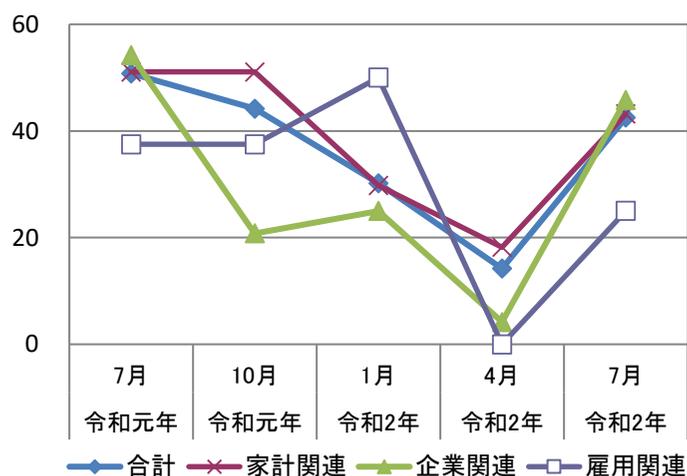
<津軽地区>

① D I

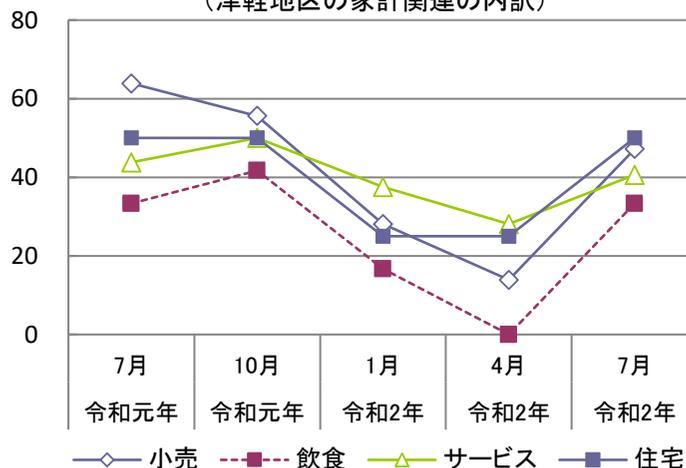
n = 30

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	50.8	44.2	30.2	14.2	42.5	28.3
家計関連	51.1	51.1	29.8	18.2	43.2	25.0
小売	63.9	55.6	28.1	13.9	47.2	33.3
飲食	33.3	41.7	16.7	0.0	33.3	33.3
サービス	43.8	50.0	37.5	28.1	40.6	12.5
住宅	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0
企業関連	54.2	20.8	25.0	4.2	45.8	41.6
雇用関連	37.5	37.5	50.0	0.0	25.0	25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



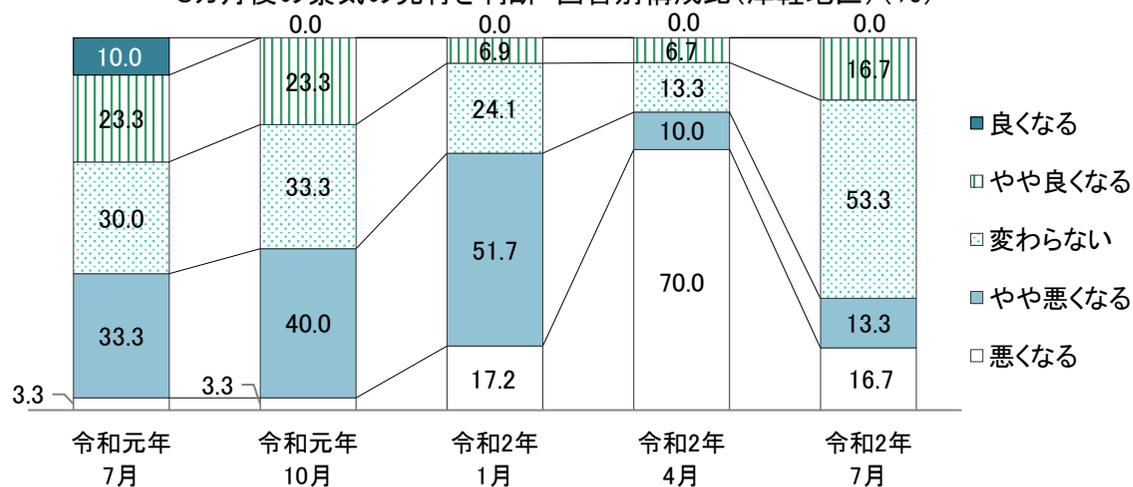
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなる	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	23.3	23.3	6.9	6.7	16.7	10.0
変わらない	30.0	33.3	24.1	13.3	53.3	40.0
やや悪くなる	33.3	40.0	51.7	10.0	13.3	3.3
悪くなる	3.3	3.3	17.2	70.0	16.7	▲ 53.3

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区) (%)



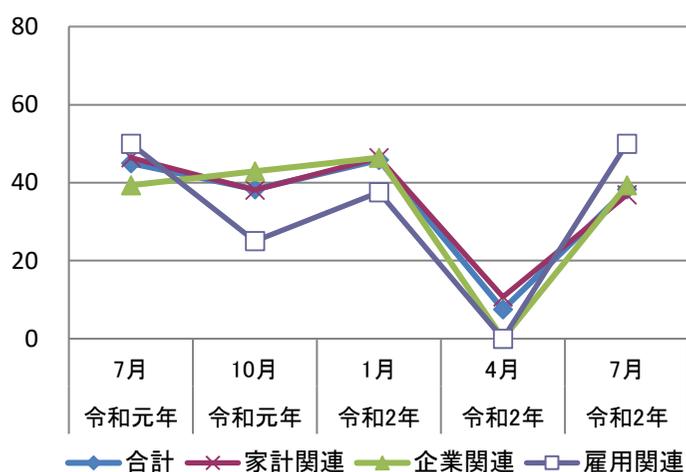
< 県南地区 >

① D I

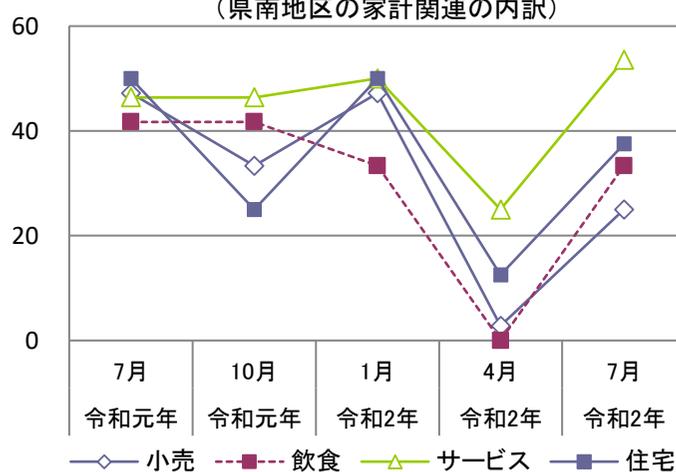
n = 30

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	45.0	38.3	45.8	7.5	38.3	30.8
家計関連	46.4	38.1	46.4	10.7	36.9	26.2
小売	47.2	33.3	47.2	2.8	25.0	22.2
飲食	41.7	41.7	33.3	0.0	33.3	33.3
サービス	46.4	46.4	50.0	25.0	53.6	28.6
住宅	50.0	25.0	50.0	12.5	37.5	25.0
企業関連	39.3	42.9	46.4	0.0	39.3	39.3
雇用関連	50.0	25.0	37.5	0.0	50.0	50.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



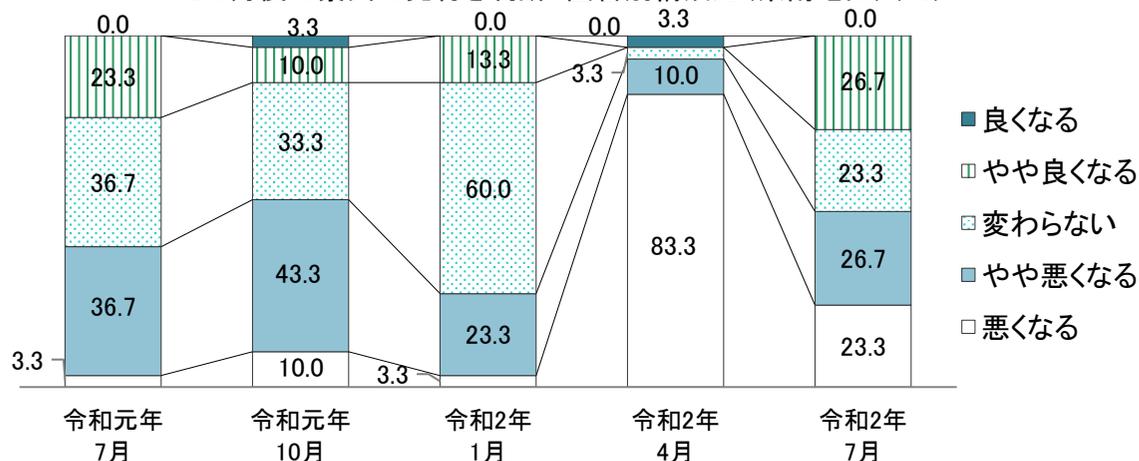
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	3.3	0.0	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなる	23.3	10.0	13.3	0.0	26.7	26.7
変わらない	36.7	33.3	60.0	3.3	23.3	20.0
やや悪くなる	36.7	43.3	23.3	10.0	26.7	16.7
悪くなる	3.3	10.0	3.3	83.3	23.3	▲ 60.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)(%)



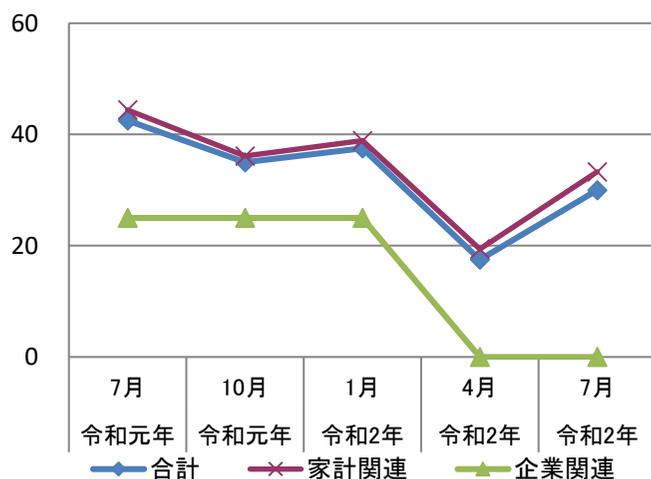
<下北地区> (参考)

①DI

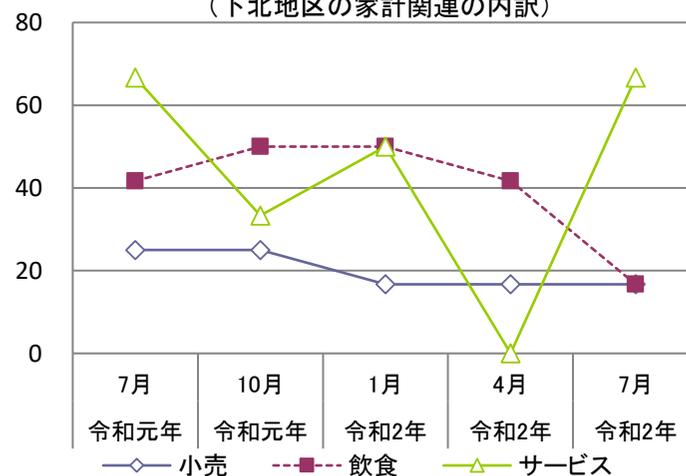
n = 10

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	42.5	35.0	37.5	17.5	30.0	12.5
家計関連	44.4	36.1	38.9	19.4	33.3	13.9
小売	25.0	25.0	16.7	16.7	16.7	0.0
飲食	41.7	50.0	50.0	41.7	16.7	▲ 25.0
サービス	66.7	33.3	50.0	0.0	66.7	66.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



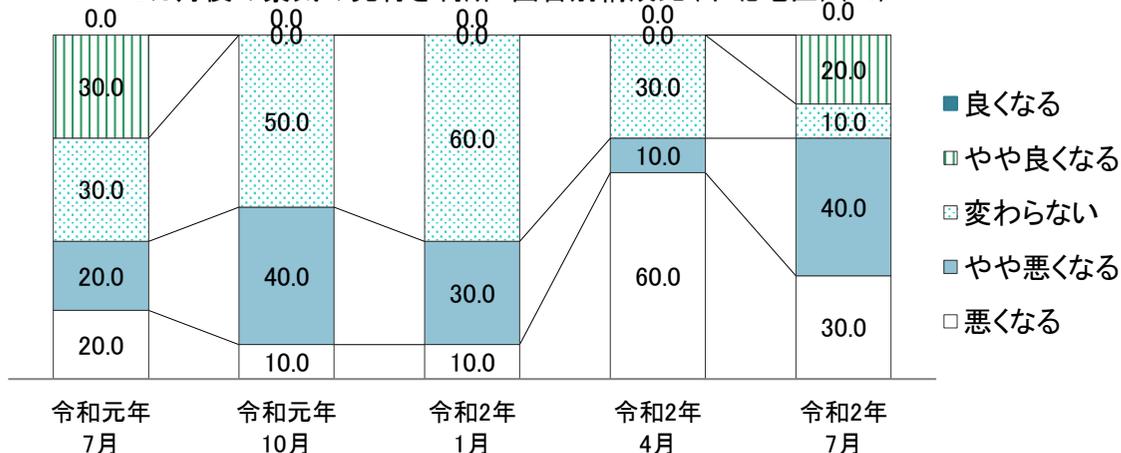
3カ月後の景気の先行き判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
変わらない	30.0	50.0	60.0	30.0	10.0	▲ 20.0
やや悪くなる	20.0	40.0	30.0	10.0	40.0	30.0
悪くなる	20.0	10.0	10.0	60.0	30.0	▲ 30.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)(%)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
良くなっている	家計	東青	家電量販店	新型コロナの影響でマスクや室内トレーニング用品など通常売れない商品が好調に売れている。しかし、お客様の収入が増えた訳ではないので、通常であれば他の商品の購入を控える事になると思うのだが、そういった動きも無く通常の消費活動を続けている様に感じる。このことから消費活動に積極的になっているという意味での景気が上向きと判断します。さらに電化製品や自転車、ブランド品など高額商品の動きも良いことから給付金10万円の影響もあると思われる。	
			都市型ホテル	6/19移動自粛解除後、ホテルへの県外宿泊者が増え、各種宴会利用も動き出した。直近では、団体のみならず個人利用（小グループ）や個人のレストラン利用者もあり、景気の動きを左右している消費行動が伸長していることが実感されるため。	
		県南	衣料専門店	3カ月前（4月）はコロナ禍が拡大期だった為。その時点よりはよくなっているが、通常期よりはやや悪くなっている。	
やや良くなっている	家計	東青	住宅建設販売	5月以降非常に新築への動きが活発になり、年内入居希望という声が増えたため。	
			百貨店	6月に入ってから、客数や売上が週を追うごとに前年に近づいている。また衣料品や宝飾品など低迷していた高額品にも動きが見え始めている。	
			一般小売店	緊急事態宣言や移動制限の解除。	
			観光名所等	3カ月前は休館していたため。	
			コンビニ	客数は多少増えている為。	
		津軽	家電量販店	景気といえるのかどうか判断しかねるが、エアコンをはじめ電化製品は前年比を大きく上回る需要がある。	
			商店街	景気に大きな変化はないが、飲食店は少し元気になってきた。	
			乗用車販売	自動車の販売状況が回復に向っている様な気がする。	
		県南	一般小売店	今から2～3カ月前が最低だったので、これから良くして行くしかない。	
			タクシー	まだコロナに対する警戒感が強くて、少しずつ仕事が動いている。	
			一般飲食店	コロナ状況次第ではないでしょうか。3カ月前はあまりにもヒドイ景気でしたので。	
			百貨店	コロナの影響で4月5月の売上が一番悪く、その時期よりはやや回復傾向にあるため。	
			商店街	緊急事態宣言の解除、交付金の給付で若干人通り、消費が増えた感を受ける。	
		企業	東青	広告・デザイン	3カ月前と比較すれば。僅かであるが、経済が活動し始める気配がある。
		雇用	津軽	人材派遣	3カ月前である4月はコロナ禍の中、最大限外出を控えた最悪の状態であり、そこと比較すると「やや良くなっている」と思う。
変わらない	家計	東青	旅行代理店	コロナの関係で悪い状態が続いている。	
			レストラン	3カ月前はちょうどコロナの影響が出始めの時だったから。	
			パチンコ	3月頃からコロナウイルス感染症の影響で集客が落ち込み、低迷が続いています。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	美容院	皆様、外に出ないようにしている。
			スーパー	コロナの影響。
			コンビニ	コロナの影響により人の行動に制限があり、コンビニエンスストアは酷い影響をうけました。
			スナック	コロナウイルスの影響がまだまだ続いている。
			一般小売店	3カ月前の3カ月間も今の3カ月間も前年比10%減少で変わらず。
		県南	美容院	来客数も変化なく、買物も特別気にしている様子は見えない。
			ガソリンスタンド	緊急事態宣言発令そして解除されてはいるが、徐々に経済活動は戻りつつあるものとは思われるが、未だ回復の途上であり、変化は感じられない。
			コンビニ	低調が続いているという意味で変わらない。コロナ、天候が影響していると思います。
		下北	ガソリンスタンド	3カ月前に比べると同じような景気だと思います。その後ゴールデンウィーク前後を底にして酷い状態でした。例年に比べれば非常に悪くなっています。
			都市型ホテル	春先から見れば、多少上向きの感じもするが、相変わらず宴会はほぼ皆無だし、宿泊も以前の状況に戻るには、時間がかかると思う。
	企業	津軽	広告・デザイン	現在は、売上額の減少等もなく変わっていない。
			県南	建設
		広告・デザイン		悪い状態が変わらないという意味です。コロナの影響でイベント等がほぼ中止。それに伴う広告（チラシやCMなど）はなくなり、他業種と違い広告会社は、イベント中止＝仕事が発生しないということになりました。
		紙・パルプ製造	新型コロナウイルスの影響が続いている。	
雇用	県南	新聞社求人広告	コロナの影響が続いている。	
やや悪くなっている	家計	東青	設計事務所	実行することを控えてしばらく多種多様にわたり様子見の状態が続いた。
			美容院	来店する期間が長目になっている。1カ月くらいの所が2カ月以上とか。
			スーパー	コロナ禍の影響で客数減。客単価は上がっていますが、来店頻度が減少しています。
			衣料専門店	4月、5月は国中がコロナ渦、緊急事態で市中に人出無く売上は開業以来の最低水準でした。
			タクシー	あくまでも3カ月前時点との比較表現で、3カ月前といえば4月上旬で新型コロナウイルスの影響から更に悪化に向かってゆく段階。まだ外出も自粛も厳密ではなく飲食店も開いていたので今現在よりはまだ水準が上だったという意味です。自粛が明けた今、谷底の4月後半に比べると回復の角度は上向いてはいるものの、消滅した施設や店舗もある上に、店舗を再開しても定員を大幅に縮小して人の距離を保った状態での営業を強いられているので全体の動きも今一つ。絶対的水準で観れば景気は（ややではなく）かなり悪い状態にあることは間違いない。
	津軽	住宅建設販売	衣食住の食の部分で、宴会や飲食（複数人数）を控えての機会が多い。家族での飲食も控え目である。	
		設計事務所	コロナによる自粛はすべてに連鎖反応を起こしていると思います。	

現状	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	家計	津軽	ガソリンスタンド	新型コロナの影響で人の動きが予測できないため。	
			衣料専門店	会合、結婚式、イベントの中止で経済が回らない。	
			レストラン	3カ月前位からコロナウイルスの影響でお客様が減少している。(4月末～6月中旬まで休業しておりました)	
		県南	スーパー	コロナ禍の影響。	
			観光名所等	客入数、売上共減少傾向。	
			旅行代理店	現在は当社旅行部門はまったく仕事なし。ただ、周りは新築工事なども散見されて底堅いところがあるのではないかと。	
			家電量販店	今、給付金と業種によって景気が良いところも多くあるが、かならず反動もありコロナの影響がまだつづくと思われる。	
			住宅建設販売	コロナウイルスの影響でお客様がまだ出歩かないため。	
		下北	スーパー	スーパーはコロナの影響で数字が上がって来ていたがここに来て落ち着いてきている、今後は5%還元も終了するので多少落ち込むと予想される。	
			企業	津軽	電気機械製造
	食料品製造	コロナウイルスの影響。			
	雇用	東青	人材派遣	電気機械製造	コロナウイルスで世界各国が2～3カ月活動を止めたことにより、注文が必要間際まで来てから出るようになってきている。各顧客とも確定した使用分しか注文を出さない。
				求人、取引先の業績の見通しが悪い。	
	悪くなっている	家計	東青	一般飲食店	やはりコロナです。飲食に来られるお客様が本当に少なく持ち帰りを実施してもおぎなえません。
スナック				不景気な挙げ句、コロナの影響で深刻に悩んでいます。	
商店街				客数の減少が大きい！	
乗用車販売				新型コロナウイルスでの影響。	
津軽		都市型ホテル	観光型ホテル・旅館	新型コロナの影響により。	
			観光名所等	コロナによる経済活動、社会活動の停止。	
			観光型ホテル・旅館	休館中の為。	
			旅行代理店	売り上げが前年比△99.5%の為。	
			パチンコ	コロナの影響。	
県南		卸売業	卸売業	コロナ関係で飲食店が休業してるために、働いている方々が収入がない状況が続き、閉店するとかしないとか噂程度のもの、実際に閉店した店舗がある。失業した方々の受け入れ先もないようです。	
			スナック	コロナ。	
			パチンコ	新型コロナウイルスの影響で、人が外出する消費活動が減っている。	
			レストラン	東京からのムダな出張が多くなってきている今、第二波が来たら、4、5月に逆戻り。イベント、宴会、全てキャンセルで悪くなっていると思う。	

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	県南	設計事務所	新型コロナウイルス感染拡大の影響の為。
		下北	レストラン	コロナの影響でどこまで、戻るのかまだ検討がつかない。
			一般飲食店	昨年の売上をみますと4月5月は昨年の3分の1くらいで終わっています。
			コンビニ	以前から、必要なもの以外買わない、夜はあまり出歩かない印象だったが、新型コロナの影響でますますといった感じ。
			一般小売店	コロナの影響で売上、客数大幅減。
	企業	東青	食料品製造	コロナ禍の中で、家で調理する機会は増えているようですが、水産物に関しては、外食に支えられていたところもある為、暑くなる今後は、尚さら、手にとる機会が減る事が予想されます。
			経営コンサルタント	宿泊、観光、外食関係の落込みは強く、強弱はあるものの多くの業種が影響を受けている。
		津軽	経営コンサルタント	影響の大小はあるが、新型コロナウイルス感染症による景気の落ち込み、及び経費増は多くの事業所に及んでいる。
		県南	経営コンサルタント	クライアントの多くは、4月、5月の売り上げが激減した。中には50%以上減の企業も多く見られた。食料品以外の販売や飲食業が軒並み下落した。
			飲料品製造	コロナの感染が拡大してから、4月、5月、2カ月が最悪で、前年の半分ほどの出荷量であった。
		下北	食料品製造	ほぼ全てコロナの影響。
		雇用	東青	新聞社求人広告
	津軽		新聞社求人広告	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され1カ月以上経過しても商店街に客足が戻っていない。夏物商戦も盛り上がらない。国民に支給された一律10万円の特別給付金による地元経済への波及効果がどうかだが、今のところ感じられない。
	県南		人材派遣	新型コロナウイルスの影響が大きい。特にサービス業（観光、飲食業など）の売上低下（自粛要請）に伴う求人数の減少の影響が大きい。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	都市型ホテル	宿泊部分については、県内・県外・海外とそれぞれのカテゴリーにおいて状況は違うが、県内の県民移動による観光・ビジネスは堅調に復調しており、県外からの利用については、都内の感染状況が懸念されるものの、右上がりでの増加に期待し、企業・官公庁の自主的な自粛体制は徐々に解除されるであろうことから、良くなっていくと思われる。ただし、海外需要が伸びればこの状況は更に大きく伸びると思われるが、今年度中は厳しいと想定している。
やや良くなる	家計	東青	観光名所等	6月1日からオープンしたところ、入場者数が微増。今が最低（であってほしい）。
			旅行代理店	GO TOキャンペーンに期待。
			卸売業	実質はあまりかわらないが、良くなったように感じると思う。
			観光型ホテル・旅館	やや良くなるという回答ではあるが、直近3カ月が限りなくゼロに近い状態であるのでまだまだ例年並みとは程遠い。
			レストラン	気持ち的には、みなさん、外出、外食をしたいのでは？コロナ自体は何も終息に向かっているのではないので…心配。
			タクシー	あくまでも今時点に比べればという意味でやや良くなる（上向く）という意味です。ただし、感染拡大第二波の発生や別の新型インフル流行の噂など不安な潜在要素はまだ多く何とも言えないというのが正直なところではあります。
	津軽	設計事務所	自粛が徐々に解除されていること、青森県で長期間感染者が出ていないこと、現状に慣れてきて行動が徐々に活発化してきていることから計画していたものに取り掛かるという雰囲気を感じます。ただ先日県内で新規感染者が発生しこれから増加する事態になると元に戻るかも。	
			コンビニ	徐々に売上・予約仕入が上がってくることを願うばかり。
		県南	一般小売店	生活必需品やマスク、消毒剤等が市場で欠乏（しておらず）パニック等になっていない。
			住宅建設販売	コロナウイルスがおちついて、今まで買い控えしていたお客が動き出せば良くなると思う。
			タクシー	警戒解除で、気持の高揚感が出て、景気を少しずつでもupさせてくれることを期待する。
	パチンコ	新型コロナの感染拡大がなければ、良くなると思う。		
		ガソリンスタンド	ある程度経済活動は回復傾向にあり、景気も良化するものとは思われる。第二波により、移動自粛要請等がなければ。	
	下北	ガソリンスタンド	これから先、今よりも良くなっていないと倒産や破産が増えると思います。ただでさえ、祭りや帰省客が見込めないのですから。	
	企業	津軽	経営コンサルタント	青森県は一時期より落ち着いてきており、6月中頃から閉店していた店舗等も開店が始まっている。ただ、他県との取引の多い業種に関しては、遅れて受注の減少が見えているようだが、さすがに8月以降は回復に期待している声が聞かれた。
			建設	今後少しずつ行動範囲が広がると思うが、様々なイベントの中止が発表されているので、劇的な回復は見込めない。現在東京での感染者が50人を超えてきており、若年者の気の緩みも少しずつ出てきていることから、これからの日本全体の感染発生状況により再度悪化へと転じる可能性はまだ残っている。
		経営コンサルタント		緊急事態宣言の解除後、徐々に社会生活が元に戻るにつれて、経済も元のように動き出します。

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや良くなる	雇用	東青	新聞社求人広告	新型コロナウイルスの感染拡大が一時期より収まり、徐々に経済活動が戻りつつあり、以前より多少は持ち直す（希望的観測もあり）と思うが、完全に収束しておらず依然として警戒が必要な状況にある中では、改善には時間がかかると思う。	
		県南	新聞社求人広告	コロナが収束するとは思えないが、現在よりはイベント等もできるようになり、景気も少しずつ回復するのではないかと。	
変わらない	家計	東青	コンビニ	これからも会合などあまりないと思うからです。	
			パチンコ	7月に入り回復を期待していましたが、景気回復の兆しを感じません。	
			住宅建設販売	イベントでの来場数、商談数が増え続けている。秋ごろまでこの勢いは続くと思われる。冬以降は心配（第2波？）。	
		津軽	都市型ホテル	現在より悪くなる事を想定できない。	
			乗用車販売	感染の拡大などにより今後も先行きが見えない。	
			家電量販店	国策のキャッシュレス還元・特別定額給付金後の先の景気については推測が難しい。	
			衣料専門店	コロナでの自粛。	
			商店街	変わらないと云うより分からない。感染者が増えたり、クラスター発生となれば景気回復傾向もまたすぐふりだしとなる。	
			旅行代理店	旅行業はすぐには上向かない。	
			レストラン	良くなる、悪くなるの決定的な根拠がない為。	
		県南	旅行代理店	青森県はよくても悪くても反応が小さくにぶい。	
			一般飲食店	良くなることを願ってはいるが、コロナがどのようになるかがまだまだ未定で不安を払拭できない状況です。	
			観光名所等	特に効果が見えない。	
			コンビニ	コロナ、自然災害が続き、景気良くなる材料がない。	
			レストラン	3カ月先はどうなるのか、全く先が見えない。	
		下北	都市型ホテル	まだまだ3カ月位だと今の状況は変わらないと思う。	
		企業	津軽	電気機械製造	今後、秋口まではフル稼働状態が続くため。
				食料品製造	自粛がどの位続くのか、先が見えない。
			県南	飲料品製造	今よりは改善が期待されるが、感染再発生でブレーキがかかるだろうし、そのような状態が続きそう。なかなか景気は戻りそうにない。
紙・パルプ製造	新型ウイルスの影響が不明。				
雇用	津軽	人材派遣	仮に青森県内でコロナ禍が小康状態であったとしても、昨年10月の消費税増税と、更に先月6月には増税軽減措置も終了したことで、買い物を手控え景気は低調だと思う。		
やや悪くなる	家計	東青	百貨店	7-9月に向けてアパレルメーカーの撤退、条件改定等の打診が多い。また、春夏物の代金で秋冬物を作成する取引先では品薄状態となる可能性もある。	
			衣料専門店	6月に入りコロナ緊急事態は緩和されましたが、三密状態を維持することから主だったイベントは中止、人々の交流は制限されとても明るい状態ではないです。	
			家電量販店	ホテルや飲食店など、売上が悪化している業種の影響が出てくると思われる。また、今年はねぶた祭りが中止となり、関連した売上が0となる事からも景気は悪化すると判断します。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	商店街	新型コロナウイルス感染症拡大による影響が大きく！マスコミ報道の影響が大きい！
			美容院	やはりお客様がコロナを気にかけているようです。
			ガソリンスタンド	第2波が広がりつつある中、自粛ムードは当分続く。
			設計事務所	建設業界は多少の仕事の差はありますが忙しく稼働状態です。
	津軽	一般小売店	6月の売上げがキャッシュレス5%還元最終月ということで4月・5月のかなりの落ち込みを少しだけとりもどしたので、7月からはかなりきびしいであろう。	
			住宅建設販売	家族や世帯としての消費や投資がコロナの影響で、先行き不安から、すべて抑える考え、傾向にあるから。
	県南	美容院	コロナの影響で失業者、閉店、廃業者がじわじわと増えそうな気がします。	
		スーパー	帰省、お盆の過ごし方に変化があるだろう。	
		家電量販店	現在は特別給付金でお客様の動向が非常に上向きだが、少し先にお客様が動いている反動がかならずある。	
		商店街	コロナの影響は引き続き上に、更なる拡大が懸念されるから。	
	下北	百貨店	飲食店、宿泊業など需要の回復が遅い業種の賃下げ、雇用縮小などの影響が出てくるため。	
		レストラン	コロナ感染者がまだ増えて来ている状況で消費者としては、自粛する方が多いと思う。	
		コンビニ	毎日、新型コロナのニュースがでるし、イベントは全て中止。天気がいい、気温が高いと人出あるが、寒いとさっぱりダメ。冬にかけてどうなるか。	
	スーパー	スーパーはコロナの影響で数字が上がって来ていたがここにきて落ち着いてきている、今後は5%還元も終了するので多少落ち込むと予想される。		
		企業	東青	建設
	雇用	県南	電気機械製造	世界では混乱している。人の移動や活動が制限されていることにより、新規投資の話が先のぼしになっていて、設備に使用する部品も注文が減ってきている。
		東青	人材派遣	コロナの影響がこれから遅れて出てくる流れになっている。
悪くなる	家計	東青	乗用車販売	新型コロナウイルス拡大。
			スナック	今年は絶対、良くならない。覚悟はしてます。苦しいです。
			一般飲食店	先が全く見えない。どうしたら良いか正直とまどう。
			スーパー	キャッシュレス還元が終了、9月からマイナポイントが開始。全く先が読めませんが、今後、デフレによる景気後退が懸念されます。
			一般小売店	ねぶた祭のない影響が8月以降リアルに反映される。
	津軽	観光名所等	コロナによる経済活動、社会活動の停止。	
		パチンコ	コロナ。	
	県南	衣料専門店	コロナ第2波に対する営業対策は無い為。	

先行き	分野	地区	業種	理由
悪くなる	家計	県南	卸売業	コロナに罹患した場合を考えると進んで飲食店に行こうかウインドウショッピングしよう！と考える方は少ないのではないのでしょうか？そうすると外食産業の売り上げ衣類などや消耗品の売り上げは難しい。一方でスーパーなどは売り上げが好調と聞くので、外に出て歩かない分自宅で消費するので、幾分、財布のひもは締まっていると思う。旅行などもしないので関係者は大変だし、観光地の売り上げも激減すると思われる。
			スナック	冬に再発する気がする。
			設計事務所	新型コロナウイルスの感染拡大が終息しない為。
		下北	一般飲食店	この下北にコロナは発生していないのになぜか中央のいいつけばかり守って夜は出歩かないし、日中はすこしもどりつつありますが、全然景気につながない気がします。
			一般小売店	イベントの自粛や店舗の休業等、地域経済が縮小してしまっていると思います。消費税増税にコロナが追い打ちをかけています。
		企業	東青	広告・デザイン
	経営コンサルタント			各地の夏祭りの中止で環境は更に悪化しつつある。
	津軽		広告・デザイン	コロナ感染での経済悪化は必然で有り、程度は別として業種を問わず景気は悪化していくと思われる。
	県南		広告・デザイン	年内のイベント等の中止が開催に変わるわけがない以上、どうにもなりません。
	下北		食料品製造	7月～8月一番の繁忙期に、祭りが無い。イベントが無い。お盆の帰省客も多く見込めない。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	弘前ねぶたまつり、五所川原立佞武多、青森ねぶた祭など各地で相次ぐ夏まつり中止の影響は甚大。交通や宿泊、土産・飲食といった観光産業がどうなるか心配だ。

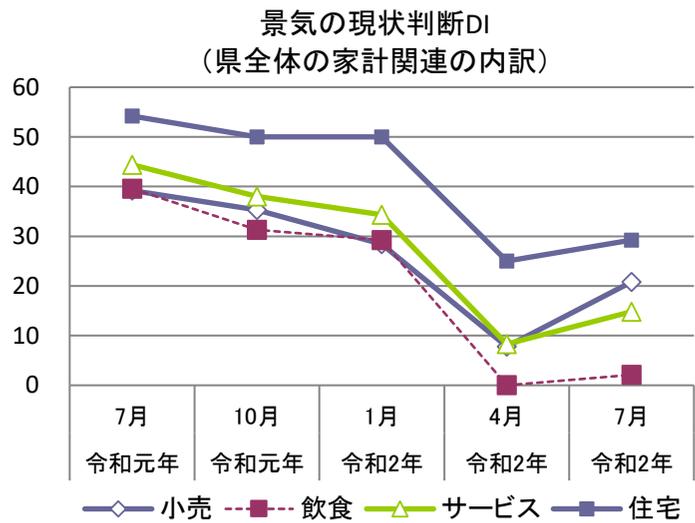
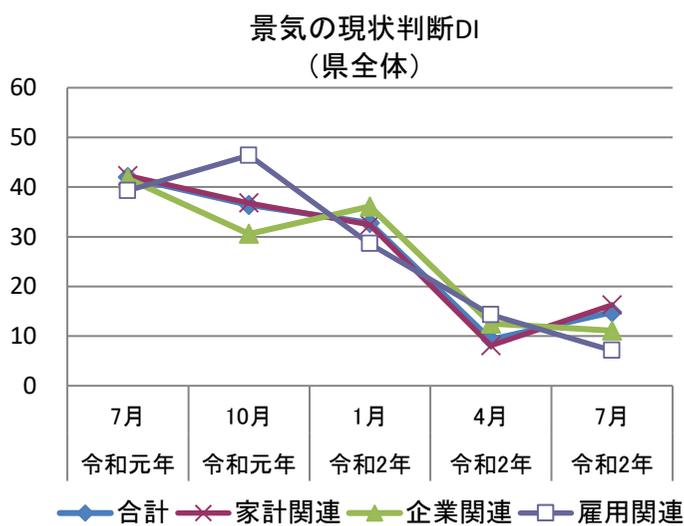
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

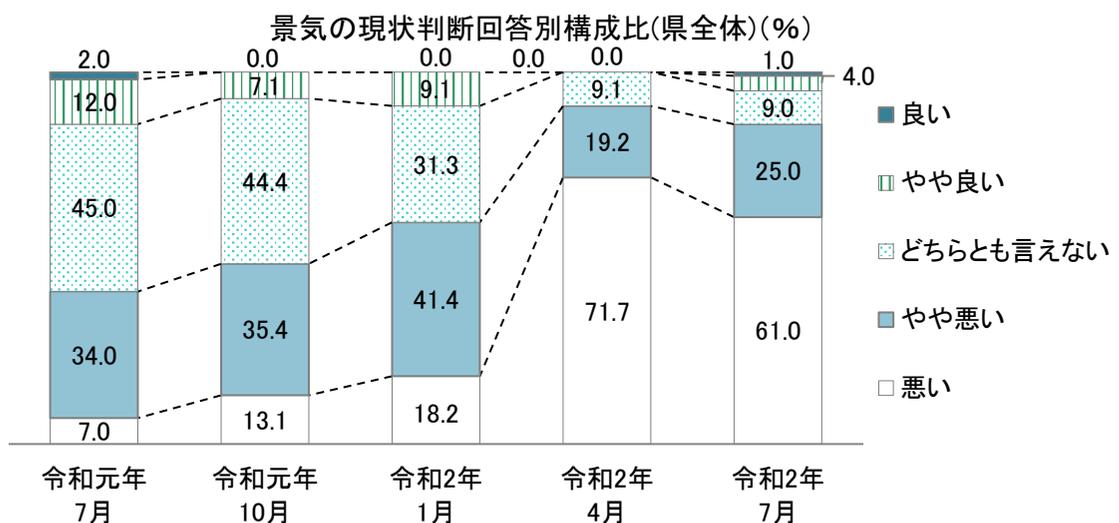
n = 100

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	42.0	36.4	32.8	9.3	14.8	5.5
家計関連	42.3	36.8	32.4	8.1	16.3	8.2
小売	39.2	35.3	28.4	7.8	20.8	13.0
飲食	39.6	31.3	29.2	0.0	2.1	2.1
サービス	44.4	38.0	34.3	8.3	14.8	6.5
住宅	54.2	50.0	50.0	25.0	29.2	4.2
企業関連	41.7	30.6	36.1	12.5	11.1	▲ 1.4
雇用関連	39.3	46.4	28.6	14.3	7.1	▲ 7.2



②回答別構成比 (%)

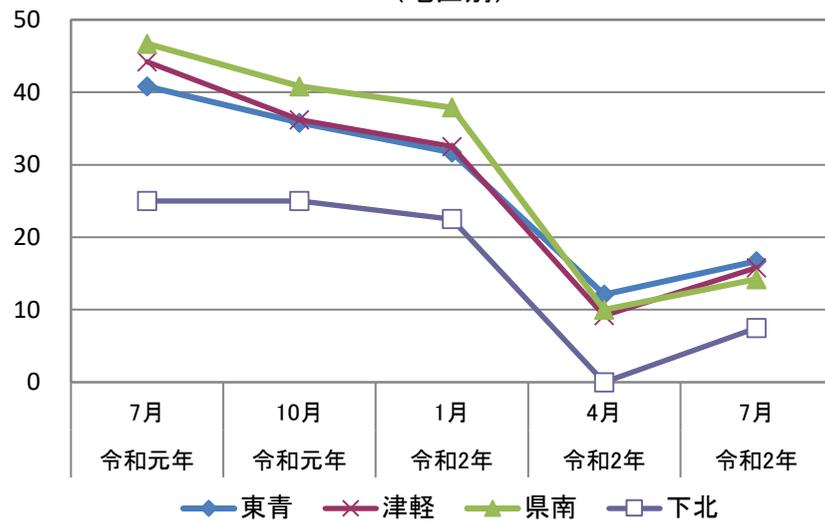
	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
良い	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
やや良い	12.0	7.1	9.1	0.0	4.0	4.0
どちらとも言えない	45.0	44.4	31.3	9.1	9.0	▲ 0.1
やや悪い	34.0	35.4	41.4	19.2	25.0	5.8
悪い	7.0	13.1	18.2	71.7	61.0	▲ 10.7



③地区別DI

	令和元年 7月	令和元年 10月	令和2年 1月	令和2年 4月	令和2年 7月	前期調査 との差
合 計	42.0	36.4	32.8	9.3	14.8	5.5
東青	40.8	35.8	31.7	12.1	16.7	4.6
津軽	44.2	36.2	32.5	9.2	15.8	6.6
県南	46.7	40.8	37.9	10.0	14.2	4.2
下北	25.0	25.0	22.5	0.0	7.5	7.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	百貨店	基本的には復調傾向にあると思われるが、7・8月はねぶた祭り中止の影響が大きく出そう。
		スーパー	特別定額給付金の支給により、客数、客単価が少しでも上昇することを期待したい。
		乗用車販売	飲食店の閉店が増加している。
		衣料専門店	何もかもが緊急事態で通常・いつもの行動styleが取れない事から戸惑っている。変化は世の常であるがあまりの事に現状把握した対応が見つけられなく(なって)いる。
		家電量販店	特になし。
		一般小売店	10万円の給付金については消費に結びつく一定の効果があった。
		商店街	お客様の気持ちの中で、節約の気分が大きくなり、消費活動にも、大きく影響している！
		一般飲食店	本当何をしたら良いのか対策が思いつかない。これまでのやり方が全て否定される。
		レストラン	店的には、早くお客様が戻ってほしいと思うのですが…クラスターとか、県外からのお客様には、まだまだ、抵抗がある。
		スナック	岩手県は感染者はなく、ゼロですね。立派の一言です。
		観光型ホテル・旅館	宿泊についてはまだまだとの感触だが、同業の飲食についてはほんの少しずつではあるが増えてきているように感じる。しかし例年に比べればまだまだのレベル。
		都市型ホテル	新しい生活スタイルをビジネスモデルの主軸にする動きが流行になることから、消費行動が変わる懸念はあるものの、おそらくある程度の水準で元に戻るとすれば、このウイルス対策や新しい取り組みに関する投資は回収できるレベルのものでなければ無駄になる可能性もある。
		観光名所等	外出自粛期間でも、首都圏や札幌からのお客様あり。
		タクシー	1人10万円の特別定額給付と偶数月15日の年金支給後は一瞬人の動きが大きくなったが、それももう落ち着いてしまった。消費者還元の終わった後のスーパーマーケットも店内は閑散としている日が多い。
		美容院	出歩くことが少なくなっている。
津軽		一般小売店	6月からは飲食業ももりかえしてきているが、コロナの増え方が心配である。
		百貨店	滞在時間が短くなっている。
		スーパー	緊急事態宣言が解除されましたが、やはり飲食業や観光業は大変な時期が続いています。その中で今出来る事を、各自治体や各企業さんが知恵を絞って頑張っていますので、応援したいと思います。
		観光名所等	「変えようとしている」と「変えようとしないう」に分かれている。
		設計事務所	コロナに対する景気回復対応策の取り組みのスピード感が各自治体に大きな差があると感じます。役所や市長、村長のスペックの問題が大きいのだと思いますが各自治体で情報を共有し足並みを揃え迅速に対応することが必要ではないかと思います。
県南		卸売業	10月からマイナンバーカードが始まりますが、個人情報と…と考えていたのですが、カード会社によってマイナンバーカードとの紐づけすると〇千円プレゼントとかの案内メールが届きまはマイナンバーカード作成しましょうか?の話題がチラホラ。
		一般飲食店	まだまだ元に戻るには時間が必要な感があるので、対応できるかがすべてです。
		コンビニ	タバコを吸う人達は、低価格の商品に移行している人が多いです。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	商店街	首都圏へ行くことに関しては、以前より自粛の傾向が見られる。
		スナック	ワクチンができれば飲食店は大変なままだと思う。
		タクシー	COVID-19解除になっても、街は閑古鳥、夜は金・土曜を除く平日は全くダメ！
		美容院	日常生活ではあまり変化は感じられないが、外出、旅行、人的交流などかなりにぶくなりそうな気がします。
		観光名所等	今年はサクランボが、4月の霜の影響で、不作により品薄であった。
		旅行代理店	出張が動き出した。
	下北	コンビニ	東京のコロナの数字出すのやめて下さい。NHK、民放、1日中です。不安あおりやめて下さい。
一般飲食店		下北も全町村間のまつり、イベント、みんな中止で大変です。	
企業	東青	経営コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・販売不振対策としてインターネット販売に商品名を変え、安値販売へ。 ・運送業では片道しか荷のない事例が増加している。 ・医院では子供の休校から患者数の減少、通院者の薬郵送依頼数が増えている。
		広告・デザイン	東京の企業が自治体のプロポーザルに積極的に参加している。また、東京の企業からの電話セールスも過熱している。東京の経済が厳しいので、その分地方の仕事を受注しようとしているようだ。
		建設	コロナのワクチン・治療薬が出る（普通に手に入る）までは不安定が状況が続くでしょう。
	津軽	電気機械製造	新型コロナの影響がまだ出ていないがこの先どうなるか不安である。
		飲料品製造	今後コロナの影響がどうなるか先行きが心配である。
		建設	新型コロナウイルスに加えて最近の豪雨災害は大変で見られない。お見舞い申し上げます。もし青森県にもきたら、恐怖でしかない。青森県経済は大丈夫だろうか、と思ってしまう。対岸の火事にならないように青森県を守ってほしい。
		広告・デザイン	コロナ禍で様々な制約が有り、積極的な営業活動が出来ていない。
	県南	飲料品製造	感染対策といっているが、どこで線引きをして対策をするかで、飲食店は苦慮している様である。
		電気機械製造	平日の日中にブラブラしている大人がふえた。雇用助成金の給付が切れるまでに人の活動が戻らないと、これらの方々の働く先がなくなってしまう、経済が落ち込まないか心配です。
		経営コンサルタント	各種会合、歓送迎会などまだ以前のように行われていない。慎重に周りを見ながらという感じです。
雇用	東青	新聞社求人広告	「コロナ以後の生活環境」を受け入れざるをえない日常が始まり、この環境が普段の生活になりつつあるように感じます。外出や旅行も控えめの生活は続くと思います。
	津軽	人材派遣	仕事や個人関係の周辺の方々へ、いただいた特別定額給付金を何かに使ったか、または使う予定があるかと質問したところ、すべての方が今すぐに使う予定がないとのことだった。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ店、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038